

学習指導要領		羽村高校 学カスタンダード
(1) 私たち生きる社会	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>— 1年間の導入として —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの時代の人も、「幸福」を求めて生活を営んできた。その歩みが現代社会に至っていることを理解する。 “歩く人がふえれば道になる”という鲁迅の言葉を知る。 ・声高に唱えられる「幸福、正義、公正」は、対立の原因にもなる。そんな身近な例を、具体的に挙げる。 <p>— 現代社会への関心 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題には何があるか、2～3答えられる。 ・生命の問題では、臓器移植・iPS細胞・出生前診断の概要を知る。 ・情報では、スマートフォンの普及が生活をどう変えているか、またどのような問題が心配されているかを理解する。
(2) 現代社会と人間としての在り方	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「第二の誕生」(ルソー)、「通過儀礼」、「モラトリアム」、「アイデンティティ」という言葉を覚え、その意味を知る。 ・今、自分がどんな時期を生活しているのか、客観的に考える。 ・日本の年中行事に見られる「通過儀礼」をいくつか答え、その行事が長く人々に受け継がれてきた背景を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ、アメリカで起こった市民革命が民主政治の原型を生んだことを知る。 ・日本国憲法第10章から、最高法規という言葉を知り、憲法の重要性を理解する。 ・日本国憲法が誕生した歴史的な背景、特に戦争の惨禍、ポツダム宣言、敗戦と占領を知る。 ・憲法が権力を縛るもので、国民を縛るものではないことを理解する。 ・日本国憲法の3つの原則を答え、これらが長い歴史

学習指導要領	羽村高校 学カスタンダード
<p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<p>の試練の中で考え出された原則であることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権が大きく自由権と社会権に分類されることを知り、その性格の違いを理解する。 ・明治憲法と日本国憲法との違いを、天皇の地位と役割という観点から説明する。 ・日本の政治制度のあらましを、国会と内閣の仕事と相互の関係を通して知る。 ・私たちのどのような行動が政治参加につながるのかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法第 13 条「個人として尊重される」の意味を考える。 ・なぜ「人の支配」ではだめで、「法の支配」が必要なのかを理解する。 ・なぜ法やルールが必要なのか、身近な問題から考えて発表する。 ・裁判員制度のあらましと意義、現在問題になっていることを知る。 ・日本国憲法第 14 条①を暗唱するまで繰り返し読み、その重要性を理解する。 ・社会の中、私たちの中にはまだまだ多くの差別が残っていたり、新たに生まれたりしている。どんな差別があるかを答え、その内容を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の 3 つの主体を答える。 ・資本主義と市場経済という言葉を理解し、経済学者 アダム・スミスの名前を知る。 ・価格決定のメカニズムを、需要と供給のグラフから理解する。 ・経済の規模や景気がどうかを知る時、目安に使われる数字が何かを知る。 ・財政とは何か、具体的なイメージを持つ。 ・税の種類を知る。特に、間接税である消費税については、深く理解する。 ・「所得の再分配」という言葉を、意味と合わせて覚える。 ・日本銀行の役割を整理し、市中銀行とは全く違うことを理解する。 ・「大きな政府」と「小さな政府」という言葉を知り、世界の国によって考え方が違うことをグラフから読み取る。

学習指導要領	羽村高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p> <p>(3) 持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p> <p>共に生きる社会を目指して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度の概要を知る。 ・少子高齢化の現状を具体的な数字から考え、社会保障のあり方を考える。 ・敗戦後から現在までの日本の経済動向、人々の暮らしの推移を簡単に理解する。外国為替レート、円高・円安について知る。 ・高度経済成長期がどのような時期だったかを、様々な角度から検討する。 ・「格差社会」という言葉が登場した背景を知り、現在の様々な労働形態とその実態を、新聞記事などを通して考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済、国際政治、国際社会をテーマとする中、国や各地域が「共に生きる」ために、日本の果たす役割が大きいことを理解する。 ・以下をキーワードにしていくので、言葉の意味を知る。「グローバル化」・「国際法」・「国際連合」 「NGO」・「EU」 ・国際紛争と貧困、難民問題を、具体的な例を挙げて（シリア問題など）考える。 ・日本国憲法前文にある「名誉ある地位を占めたいと思う」の意味を、世界平和の観点から理解する。さらに安全保障と日本について、自衛隊の役割を含めて、様々な立場で議論されていることを知る。 ・「集団的自衛権」という言葉を知る。 <p>— 1年間の学習のまとめとして —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習してきたことの中から、最も関心のあるテーマを1つ選び、そのレポートが作成できる。 ・高校生が寄せた新聞の投書を探し、同じ高校生がどんな問題に関心をもっているか、発表できる。